

中学生も
読んでね

尾上庁舎の新しい活用方法をみんなで考えよう！

尾
上

つぼにわ

第1号

レター



尾上庁舎の新しい活用方法をみんなで考えるプロジェクト、進行中です！



写真：現在の尾上庁舎の外観と屋内の様子

プロジェクトについて



平川市では現在、市役所新本庁舎の建設工事を行っています。新本庁舎が完成した際には、尾上庁舎の部署の多くが新本庁舎へ移動し、尾上庁舎には市民生活課の窓口と生涯学習センターの機能が残ります。したがって、その他の事務室や会議室などの空いたスペースをどのようにに活用するかが課題となっています。

そこで、最初の取り組みとして市役所若手職員を中心とした庁内検討チームを組織し、令和元年度から弘前大学との共同研究事業として尾上庁舎の新たな利活用方法の検討を進めています。これまでに、先進地の視察や様々な事例から情報を収集し、市民のニーズを把握するための調査を行ってきました。

これらの結果などを踏まえ「基本ポリシー」と「3つのコンセプト」案を策定しました。

今後は、さらに市民の皆様のご意見を伺いながら具体的な利活用方法や運営方法を検討していきます。

Q. 新本庁舎が完成したら、尾上庁舎はどのような？

A. 市民生活課窓口および生涯学習センターはこれまで通り利用できます！

市民生活課の窓口

- 住民票の写し交付
- 住所移動
- 課税証明書の発行 etc...

生涯学習センター機能

- 図書館
- 会議室等の使用

まんが
パーク

遊具
広場

+

α

カフェ

チャレンジ
ショップ

ココをみんなで考えましょう！

プロジェクト の流れ



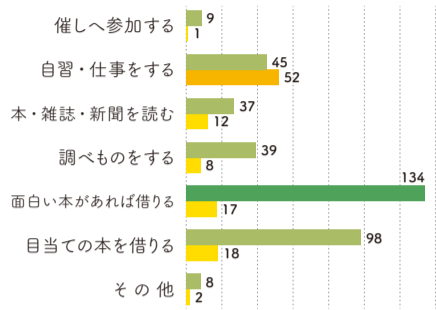
市民の皆さんはどんな場所を望んでいる？

令和3年1月～2月、尾上庁舎に対するニーズや意見を把握するためアンケート調査を実施しました。皆様のご協力ありがとうございました。 ※一部抜粋

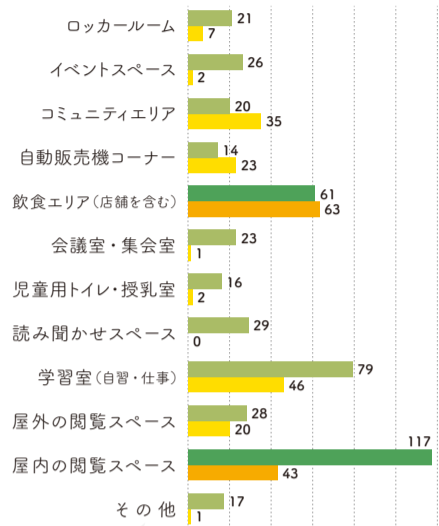
図書館機能拡充に関するアンケート

主な対象：市内図書館利用者、尾上中学校2年生(当時)

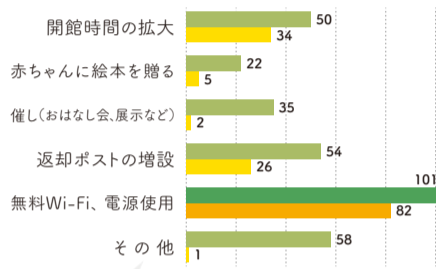
図書館の利用目的は？



図書館に期待するスペースは？



充実してほしいサービスは？



- ・検索システムの改善
- ・図書の実態と積極的な紹介
- ・開館日の拡大
- ・尾上と平賀の休館日を別々に

- ・車椅子やベビーカーと同伴者が閲覧できるスペース
- ・10代(中高生など)と大人のエリア分け

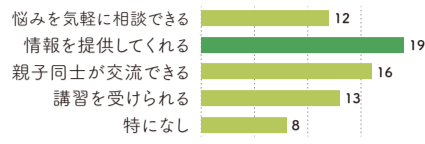
わかったこと

- 「本を借りるため・勉強するためのスペース」として認知されている。
- 「空き時間・迎える待つ時間」を過ごす場所にもなっている。
- ゆっくり過ごせるスペース(カフェ併設など)への要望も多い。
- 用途・年代によって期待する内容にバラつきがある。

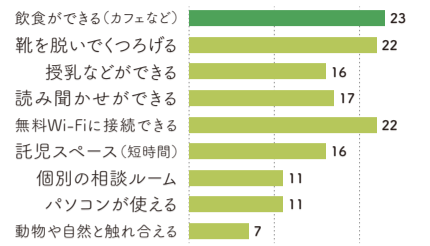
子育て世代へのアンケート

主な対象：子育て健康課で行う教室の利用者など、各保育施設職員、尾上地域小学校(金田、猿賀)父兄

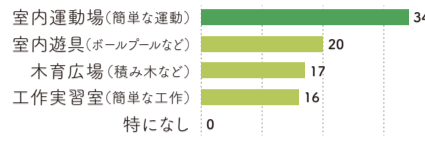
どのような支援の場が必要？



どのような空間があると良い？



どのような設備・機能があると良い？



わかったこと

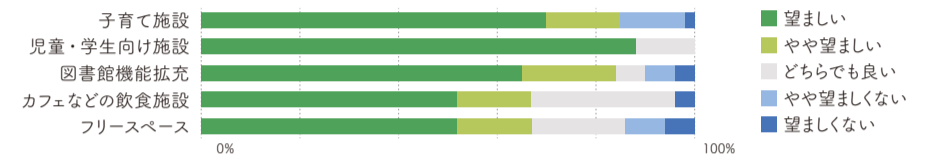
- 情報共有・交流を希望している。
- 子どもと過ごせるかを重視している。

尾上地域在住者(43名)の票数を集計

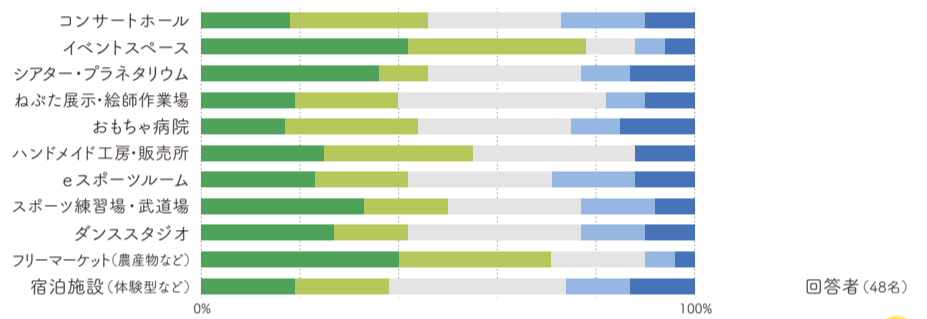
インターネットでのアンケート

主な対象：インターネット世代(オンライン回答)

尾上庁舎がどのような施設として利用されると良い？



どのような内容で利用されると良い？



わかったこと

- 回答者の年齢は20～39歳が一番多かったが、その他の世代と結果に大きな差はなかった。
- イベントスペースについては好意的な意見が多い。

回答者(48名)

市職員チームで考えた活用案

日々の生活において「モノ」や「サービス」が満たされている今、これらに対する需要よりも、人とのつながり、社会的交流から創出される「コト」や「バショ」による心の充実が求められています。

新たな尾上庁舎が「コト」を生み出す「バショ」となり、そこに関わるすべての人がともに成長していく仕組みをつくることを目標としています。その指針として、右記の基本ポリシーと3つのコンセプト案を策定しました。

今後は、これらのポリシーとコンセプト案を軸に、利用者さらには運営者として関わり得る市民の皆様と一緒に、より具体的な事業計画を策定し実現を目指します。

基本ポリシー

子ども、若者、子育て世代、働く世代、シニア世代など
全ての世代が気軽に利用し、共存できる場所を創り育てる。

コンセプト1

尾上図書館の機能拡充

ニーズに合った特色を持たせることで、利用者が市内2か所の図書館を選択できるかたちへ。

コンセプト2

子どもや親子が集える場所

子どもたちが集う場所は、子育て世代・祖父母世代の交流の場にもなることが期待できる。

コンセプト3

紹介したくなる魅力的な場所

周辺エリアにはない、平川市のひとつの魅力となるような「オンリーワン」の場所を目指す。

今後の予定

尾上庁舎の活用方法については、「市職員チームで考えた活用案」を叩き台として、市民の皆様とともに再考し

決定していくこととなります。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本事業で予定していた企画や会議等が延期を余儀なくされていますが、感染の状況を考慮しながら、右記3つの市民参加の場を設けてスタートする予定です。市民参加の場への応募方法や内容については、市のホームページや広報等で随時お知らせします。

- ① 新しい利活用について広く意見を集める場
- ② 将来の図書館のあり方を考える場
- ③ 子どもや親子が集う場所のあり方を考える場

編集後記

最後まで本紙をお読みいただきありがとうございました。タイトルの「つばにわ」の言葉には「新しい尾上庁舎が、季節や時代の変化に合わせて絶えず人の手を加えていくことで、たくさんの人から愛されるような

“尾上地域の庭”へと育ててほしい」という想いを込めました。今後も、皆様にプロジェクトの様子をお伝えできるよう不定期で発行を予定しています。それでは、また次号でお会いしましょう! (古川)

尾上つばにわレター

尾上庁舎活用検討会議 広報紙【第1号】

発行：平川市役所総務部総務課行政係
弘前大学大学院地域社会研究科
編集：古川 浩之、土井 良浩
デザイン：minimum

お問い合わせ先
平川市役所総務部総務課行政係
平川市柏木町藤山25番地6(本庁舎3階)
tel.0172-44-1111